

ナシヒメシンクイに対する 防除効果が高く残効の長い殺虫剤

福島県農業総合センター 果樹研究所 病害虫科

1 部門名

果樹－ナシ－病害虫防除

2 担当者名

阿部初紀、中村傑、高橋佳大

3 要旨

近年の温暖化を背景にナシヒメシンクイによるナシの果実被害期間が長期化しつつあり、残効の長い殺虫剤が求められている。そこで、主要殺虫剤のナシヒメシンクイに対する防除効果を比較検討したところ、シベルメトリン水和剤(商品名：イカズチ WDG)、トラロメトリン水和剤(商品名：スカウトフロアブル)、アセタミプリド水溶剤(商品名：モスピラン顆粒水溶剤)、スピネトラム水和剤(商品名：ディアナ WDG)、クロラントラニリプロール水和剤(商品名：サムコルフロアブル 10)の残効が長いことが明らかとなった。

- (1) シベルメトリン水和剤、トラロメトリン水和剤、スピネトラム水和剤、クロラントラニリプロール水和剤は散布 14 日後まで効果が高かった (図 1)。
- (2) トラロメトリン水和剤は散布 28 日後まで効果が高く、シベルメトリン水和剤、アセタミプリド水溶剤、スピネトラム水和剤、クロラントラニリプロール水和剤は散布 28 日後まで効果があった (図 1)。なお、発生状況に応じて追加防除を実施する。

4 成果を得た課題

(1) 研究期間

令和 3～7 年度

(2) 研究課題名

果樹病害虫の防除法改善

5 主な参考文献・資料

なし

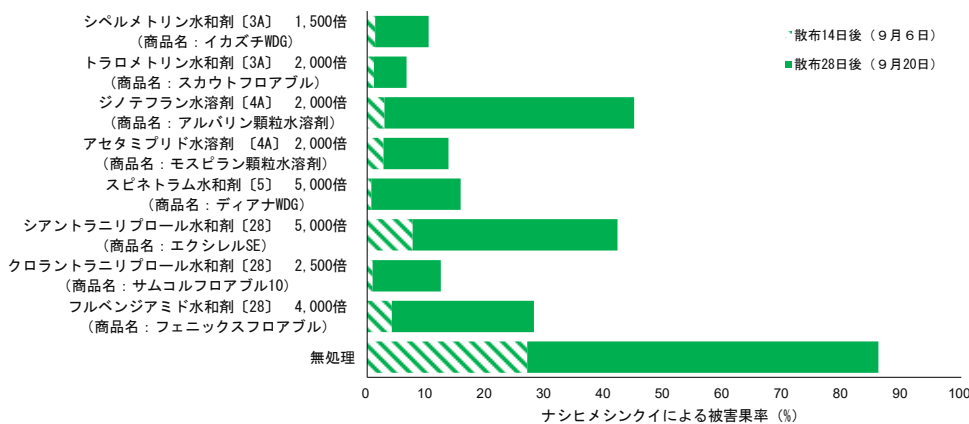


図 1 ナシヒメシンクイに対する各種薬剤の防除効果(福島市、2024 年)

※8月23日に散布。ナシヒメシンクイによる被害果率(%)は各区 2~3 反復の平均(累積)を示す。

※薬剤名の〔〕は IRAC コードを示す。